Route53

Route53概要

DNSサービスを提供する

DNSの概要

URL ・・・人向けのインターネットの住所

IPアドレス ・・・コンピュータが住所識別するためのID

URL　→　DNS　→　IPアドレス

権威DNSサーバー

実際に名前解決機能がある

キャッシュDNSサーバ

起業サーバに一時的にDNS情報を保持するキャッシュDNS

Route53・・・AWSが提供する権威DNSサーバ

マネジメント型のため冗長構成はいらない

主要機能：ドメイン登録・DNSルーティング・ヘルスチェック

AWS側で100％可用性を保証するSLA

ポリシーによるルーティング設定：

トラフィックルーティング・フェイルオーバー・トラフィックフロー

ホストゾーン

パブリックホストゾーン

インターネット上の公開されたDNSレコードを管理する

プライベートホストゾーン

VPC内でDNSレコードを管理する

DNSレコード

SOA ： ドメインのDNSサーバ/メールアドレス/シリアル番号などを保持

DNSと連絡するトップレイヤー

A ：　ホスト名とIPアドレスの関連付けを定義する

MX ： メールサーバのホスト名を定義する

CNAME： 正規ホスト名に対する別名を定義するレコード

特定のホスト名を別のドメイン名に転送

ALIASレコード

仮想リソースレコード

ALIASレコード

AWSサービス用のレコード

メリット：

CNAMEにマッピングできないZone Apexを設定可能

無料

DNS　LOOKUPの高速化

CloudFrontでクエリの回数を削減

トラフィックルーティングのタイプ

シンプルルーティング：

一番基本的なルーティング

加重ルーティング：

複数リージョンでサーバを分散化させてた場合どこに加重をかけるか設定可

フェイルオーバールーティング：

プライマリに設定したリソースがダウンした場合セカンダリのリソースに

ルーティングする

複数値回答ルーティング：

ELBと同じようにヘルスチェックしながらルーティングが可能

DNSレベルでアベイラビリティとロードバランシングの向上

レイテンシールーティング：

低遅延なリージョンにルーティングする

最寄りリージョン

位置情報ルーティング：

アクサセされた位置情報を基にする

国ごとにHPの言語を変えたいなどに使う

地理的近接性ルーティング：

位置情報より緯度経度も使って詳細に識別する

トラフィックフローを利用する必要がある

トラフィックフロー

エディタ形式で複雑さや組み合わせを持ったルーティングが可能